



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和7年度 【号外】
令和8年3月23日 発行

【学校教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

学校は 「勉強をするところ」「友達と仲良くするところ」「安心・安全なところ」

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

校歌の音階の謎（その3） ～開校100周年に向けて～

校長 藤田 昌一

令和6年の2月と、本年2月に「校歌の音階の謎」について取り上げたところ、地域や保護者の皆様から、様々な情報をお寄せいただきました。御礼申し上げます。

*

さて、音階の違いについて、改めて確認をしておきたいと思います。

胸をはり あしなみそろえ 行け 行く 行くぞ

【A】 昭和～平成中ごろまで ♪

そ
ろ
あ し な ~
み えー

【B】 平成中ごろ～令和（現在） ♪

そ
ろ えー
あ し な ~
み

本年1月の時点で、昭和33年度～平成11年度までは、【A】の楽譜が「学校要覧」に掲載されていることが分かっていました。しかし、校歌制定の昭和26年3月～昭和32年度までの楽譜が見つかっていませんでした。

*

ところが、本年2月号の発行後、2つの新たな情報により、校歌制定当時の歌い方が【A】であることが判明しました。したがって、オリジナルは、【A】ということになります。

<情報1>

昭和26年3月の新校歌お披露目の時に、在校生であった地域の方からご連絡をいただきました。歌い方は【A】であったというお話でした。

<情報2>

昭和26年3月28日発行の「学校新聞」のコピーが見つかりました。「学校新聞」は、現在の学校だよりにあたるもので、紙面の多くを割いて、新しい校歌を紹介しています。それによると、楽譜は【A】でした。 (※1 次ページ参照)

*

では、どうして平成の中ごろに【B】に切り替えたのか?という謎は残りますが、ここからは、私(校長)個人の推測であることを念頭にご一読ください。

開校50周年の記念誌に掲載されている楽譜が、現在学校に残る校歌の中で一番詳しく書き込まれているものです。(※2 次ページ参照)

オリジナルは2部合唱ですが、ト音記号だけでなく、ヘ音記号のパートもあることから、伴奏用にアレンジされた楽譜であると思われます。その楽譜が【B】でした。また、平成の頃から、子どもたちが使っていた歌集には、なぜか【B】の楽譜が掲載されていました。当時、80周年をひかえ、記念誌等を見返していた時に、50周年記念誌の詳しい楽譜をみつけ、それに倣ったのではないかと思います。

＊

ともあれ、私（校長）としては、オリジナルの楽譜【A】で歌ってもらいたいと考えています。しかしながら、現在の歌い方【B】になって、約20年が経過し定着しています。

そこで、4年後の開校100周年に向けて、今後、常盤小学校として歌い継いでいく校歌は、【A】と【B】のどちらがふさわしいのか？地域の皆様、保護者の皆様はもとより、教職員や子どもたちと共に検討していきたいと思っております。

昭和26年3月28日
校歌新生さる
作詞は神保光太郎氏、作曲は佐々木三吾郎氏によるものである。この調への前段は割合平坦な趣の節で素朴にうたわれ、後段は常盤小学校に学ぶ子供達のたえず躍進して止まない力強い意気がうたわれている。この強弱二つの変化によつてこの曲を上品なものとしてゐる。作詞、作曲共に常盤小学校にふさわしいものが生まれたことを大きな喜びとし、開校先方に深く謝意を表すも次第である。

青い空 白雲とがよ
深きおこる 希望のひかり
われら 太陽の子 日本つ未来
胸とけり ありやみぞろと
行け 行け 行け 行け
ときわ ときわ ときわ
われらの歌園

浦和市立常盤小学校校歌
神保光太郎 作詞
佐々木三吾郎 作曲

※1 昭和26年
3月28日発行
「学校新聞」より

※2 昭和54年
11月1日発行
「開校50周年
記念誌」より

あしなみそろえず
あらしにまけず

あしなみそろえず
あらしにまけず

浦和市立常盤小学校校歌
神保光太郎 作詞
佐々木三吾郎 作曲

あしなみそろえず
あらしにまけず